

# 建設分野の新技术・新工法の報告会 令和4年度「建設技術報告会」を開催しました ～23課題をオンデマンド配信～

令和4年度「建設技術報告会」実行委員会

## 1. 開催概要

令和4年度「建設技術報告会」実行委員会（北陸地方建設事業推進協議会の官公庁及び民間団体等23機関で構成）は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技术、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に毎年開催しています。令和4年度「建設技術報告会」は、DX推進の一環及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き非集合方式としてオンデマンド配信にて、令和5年1月18日から1月31日（14日間）にかけて開催しました。

本報告会は、24技術の課題を建設技術報告会ホームページに論文を掲載し、オンデマンド配信（総再生時間300分）にて報告を行いました。なお、24技術のうち1技術は論文掲載のみとしました。

昨年度を上回る860名の方に全国から聴講頂き、CPD（121名）及びCPDS（581名）の受講証明書を発行しました。

### ●前回（昨年度）からの改善点

昨年度の意見を踏まえ改善した主な項目は、以下のとおり。

	【前回】	【今回】
・開催期間拡大	10日間（土日を除く）	→ 14日間（土日を含む）
・視聴ID登録の分別	機能なし	→ ID登録時に分別
・視聴順の自由選択	指定された順番に視聴	→ 自由に選択し視聴
・一時停止機能を追加	再視聴に限り一時停止可	→ 初視聴でも一時停止可

## 2. 次年度に向けて

### ●本年度聴講者からの主な意見

- ・1課題あたりの報告時間が15分程度で、休憩時間等の少し空いた時間に視聴できて良かった。
- ・土日を含め24時間視聴できたのは良かった。
- ・一時停止機能でメモを取る余裕があり、理解度向上に繋がった。急な来客にも対応できた。
- ・視聴順の自由選択は、興味深い内容から優先順位をつけて視聴できたので良かった。
- ・除雪融雪や凍結対策、港湾関係の技術が多いことに地域特性を感じた。
- ・従来技術に対する定量的な優位性（経済性、施工性、品質など）の説明、当該技術の設計条件（適用条件）の説明が全般的に不足しているように感じた。
- ・動画がフリーズし再読み込みをすると、最初から視聴することになった。何度か繰り返したため、視聴に多くの時間を費やした。
- ・説明が聞きやすいのとそうでないのがあったため、機械音声で作成している会社は、とても聞きやすかった。しかし、発表者の発表練習にならないので、どうなのか。

### ●意見を受けて次回（次年度）に向けての改善予定

本年度の意見より、現時点で次年度に改善を予定する項目は以下のとおり。

	【今回】	【次回】
・会期後の視聴	視聴不可	→ 会期後1ヶ月間の視聴延長

多数の聴講者の参加により、当報告会の目的である新技术の活用・普及に向けて大変有意義な報告会となりました。多数の聴講ありがとうございました。

●オンデマンド配信による課題報告一覧

テーマ	技術名	所属	発表者
①	ダムコンクリート運搬設備(SC プレミアムベルコン)の開発	清水建設株式会社	山下 哲一
①	道路除雪における除雪車運行管理システムの導入について	新潟市	小野寺 充
①	トンネル覆工コンクリートの自動打設システムの開発	鹿島建設株式会社	松本 修治
①	トンネル坑内自動巡視ドローン	株式会社フジタ	松岡 祐仁
①	ケーソン据付時のICT施工について	国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所	東 凌
①	消波ブロックを対象としたUAV測量	五洋建設株式会社	西 広人
①	消波ブロックのリアルタイム据付シミュレーション	株式会社不動テトラ	三井 順
①	5Gを用いた遠隔操縦システムの構築	株式会社大林組	稲川 雄宣
②	プレキャスト床版接合技術「Head-barジョイント」	大成建設株式会社	川口 哲生
②	道路橋RC床版の高耐久補修工法T-Sus Layerの開発	大成建設株式会社	橋本 理
②	他分野で取得したデータの(利)活用による舗装修繕工事の適用検討	株式会社植木組	品田 惇貴
②	防水性能を有した橋面アスファルト舗装の開発	東亜道路工業株式会社	鈴木 拓人
②	塩分吸着型複合防水工法の開発	東亜道路工業株式会社	佐川 聡
③	ICT活用により作業装置を自動化した除雪トラックの試行運用について	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所	福島 徹
③	積雪寒冷地の路面破損状況に着目した全天候型常温合材の開発	北川ヒューテック株式会社	本間 圭一
③	FFP(フル・ファンクション・ペーパー)舗装の凍結抑制効果	株式会社ガイアート	藤澤 洋彦
③	放熱管方式無散水融雪設備の開発	株式会社グランテック	東 知樹
③	3D測量を活用した融雪配管理設型プレキャストRC舗装版施工	株式会社興和	坂井 祐史
③	冬期融雪対策への通電発熱塗料を用いたシートヒーターの適用	佐藤工業株式会社	前田 幸男
⑤	廃プラスチック材を活用した舗装材の開発	北川ヒューテック株式会社	西園 雄太
⑤	作業船へのGTL燃料の導入について	若築建設株式会社	田沼 遊太郎
⑤	景観や環境の影響を最小限に抑えた遠隔自動浚渫技術「水底土砂ポンプ浚渫工法」	あおみ建設株式会社	井上 真志
⑥	車両前方画像を活用したAIによる交通事故危険事象検知システム	前田建設工業株式会社	濱島 彩織
⑥	建設業の働き方改革の推進について～いしかわ週休2日工事・ICTの活用等～ ※掲載課題	石川県	濱野 仁樹

以下の6テーマに関して、24課題の報告を行いました。

①i-Constructionによる生産性向上、インフラ分野のDX(8課題) ②社会資本の的確な維持管理・更新(5課題)  
③雪に強い地域づくり(6課題) ④自然災害からの安全確保(0課題) ⑤環境の保全と創造(3課題) ⑥その他(2課題)

令和4年度「建設技術報告会」の報告論文は、建設技術報告会ホームページよりダウンロードできますので、下記URLよりご覧いただければ幸いです。

URL : <https://www.kensetsu-houkokukai.info/program/index.html>

北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」実行委員会構成機関

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市

東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社

(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部

(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部

(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会／(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部

北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター／

北陸地質調査業協会／(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会

(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所